

研究実施のお知らせ

研究課題名: 自宅退院困難と考えられた患者への退院支援の一事例

研究期間: 2026 年 6 月～2027 年 1 月

当院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護における倫理指針」に基づき、匿名化された既存情報(診療録)の研究利用について、以下を公開いたします。

【研究の対象となる方】

2025 年 12 月～2026 年 1 月に当院 6 階西病棟に入院された方

【研究の目的と意義】

自宅退院困難と考えられていた患者が、実際に自宅退院できた事例を振り返り、退院支援における看護師の役割について検討、今後の退院支援の示唆を得ることを目的とします。

【研究の方法】

診療記録を用い、後方視的に考察します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(医師記録、看護記録、医療相談記録、年齢、性別、診断名、既往歴、入院期間、検査データ、入院中の経過)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳密に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されないよう行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者への謝礼等ありません。

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者の氏名、住所、生年月日などは一切公表しないこととします。研究者等が調査により得られた情報を取り扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないよう、臨床の検査で得られたデータを研究担当者が匿名化を行い使用します。本研究結果が公表される際も、研究対象者個人を特定できる情報は含まれません。得られたデータは、匿名化の上で個人情報に注意し適切な方法で破棄いたします。

【お問い合わせ】

今回の研究では、医師記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡をください。今回の研究に協力いただけない場合でも、当院の診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問い合わせ先】

仙台市立病院 6 階西病棟

代表 022-308-7111(内線 3461)

研究責任者 看護師長 今泉しのぶ

研究担当者 山内彩詠